

令和7年度 児童福祉行政指導監査 状況一覧

施設種別	実施年月日	施設名	実地書面の別	担当課	文書指摘	
					指摘事項	改善状況
児童養護施設	R7.10.7	鳥取こども学園	実地	家庭支援課	計算書類(資金収支計算書)と附属明細書(積立金・積立資産明細書)との整合性を図ること。	【改善済】次回から資金収支計算書に退職給付引当資産取崩収入及び退職給付支出を適切に計上する。
					様式に従って附属明細書(引当金明細書)を記載すること。	【改善済】様式に基づき、適正に記載する。
					繰入金が発当できない支出に使用されているため、適正に措置費を執行すること。	【改善済】繰入金が必要な場合には、関連法令等に基づき適切に措置費を執行する。
					事業活動計算書と附属明細書並びに固定資産管理台帳が一致していなかった。	【改善済】確認不足であり、各計算書類と附属明細書の整合性を図る。
	R7.9.5	青谷こども学園	実地		決算額と予算額が大きく乖離している科目があった。	【改善済】予算と決算が乖離しないように必要額(積立資産取崩収入)を精査する。
					附属明細書(補助金事業等収益明細書)の記載内容に誤りがあった。	【改善済】計算書類と附属明細書の整合性を図るため、複数の職員体制で確認する体制を整える。
					資金収支計算書及び事業活動計算書の記載内容に誤りがあった。	【改善済】確認不足であり、仕訳ミスを防ぐため複数の職員による確認体制を整える。
					計算書類(貸借対照表)と附属明細書(積立金・積立資産明細書)との整合性を図ること。	【改善済】次回から計算書類(貸借対照表)に退職給付引当資産を計上する。
	R7.9.8	因伯子供学園	実地		施設会計から本部会計への繰り入れは、必要額を理事会で審議した上で行うこと。	【改善済】繰り入れた資金は戻入処理した。
					随意契約において、相見積もりを徴していなかった。	【改善済】今後は随意契約であっても、相見積りを徴収して契約をする。
					寄附金品を適切に計上していなかった。	【改善済】即日消費できないものなど、寄附金品を適切に取り扱い計上する。
					事務執行の際に所属長決裁までに複数名の職員による確認行為が実施されていない。	【改善済】稟議に関する規定を定めて、複数での確認体制を整えた。
	R7.11.10	光徳子供学園	実地		資金収支計算書に記載する必要のない科目が記載されていた。	【改善済】確認不足であり、今後は正確に記載する。
					決算時において当期末支払資金残高の予算と決算に多額の差異があった。	【改善済】補正予算編成時に適正な額に変更する。
					附属明細書(サービス区分間繰入金明細書)に使用目的等が正確に記載されていない。	【改善済】誤った記載となっていたため、適切に記載する。
					計算書類に対する注記に記載する必要のない内容を記載していた。	【改善済】今後は記載しないようにする。
R7.10.3	米子聖園天使園	実地	出納帳に記載する必要のない会計処理(積立資産の取崩等)を記載していた。	【改善済】便宜上記載していたが、今後は記載しないようにする。		
			決算額と予算額に乖離がある科目があった。	【改善済】決算額と予算額に乖離が生じないように予算執行する。		
			資金収支計算書と貸借対照表間において、一致していない数値があった。	【改善済】不一致の原因を究明し、適正に計上していることを確認した。		
			児童の入所時健康診断が未実施となっていた。	【改善済】入所時の手続きの中に健康診断の項目を作成し、児童相談所と漏れないように確認する。		
児童心理治療施設	R7.12.12	鳥取こども学園希望館	実地	計算書類(事業活動計算書)と附属明細書(国庫補助金等特別特別積立金)との整合性を図ること。	【改善済】確認不足であり、計算書類と関係諸帳簿(附属明細書)を突合させて整合性を図る。	
				決算額が予算を大きく超過している科目があった。	【改善済】補正予算時に再点検を実施し、決算に向けて適切な額を計上する。	
				前記未支払資金残高が正しく計上されていない。	【改善済】既に金額を変更して対応済み。	
				計算書類に対する注記と関係書類(固定資産管理台帳)間での整合性を図ること。	【改善済】各担当者間の認識不足と確認不足、今後は計算書類等の作成時には、整合性を確認する。	
乳児院	R7.12.1	米子聖園ベビーホーム	実地	器具及び備品の除却について事前に理事長の承認を受けていなかった。	【改善済】経理規程細則を確認したところ、理事長の承認を得る必要のないものであった。	
				寄附物品を適切に計上していなかった。	【改善済】金品に限らず、寄附物品は適切に取り扱い計上する。	
	R7.8.28	鳥取こども学園乳児部	実地	計算書類(資金収支計算書)と附属明細書(積立金・積立資産明細書)との整合性を図ること。	【改善済】次回から資金収支計算書に退職給付引当資産取崩収入及び退職給付支出を適切に計上する。	
				決算額と予算額に乖離がある科目があった。	【改善済】定員改定により措置費収入の減少を見込み、適切な金額を計上する。	
				様式に従って附属明細書(引当金明細書)を記載すること。	【改善済】様式に基づき、適正に記載する。	
				繰入金が発当できない支出に使用されているため、適正に措置費を執行すること。	【改善済】繰入金が必要な場合には、関連法令等に基づき適切に措置費を執行する。	
事業活動計算書、附属明細書(国庫補助金等特別積立金明細書等)及び固定資産管理台帳が一致していなかった。	【改善済】確認不足であり、各計算書類と附属明細書の整合性を図る。					

母子生活支援施設	R7.10.22	つくし	実地	家庭支援課	(文書指摘事項なし)	—
	R7.10.7	コスモス	実地	西部総合事務所 県民福祉局 地域福祉課	(文書指摘事項なし)	—
	R7.10.27	のぞみ	実地	家庭支援課	寄附物品を適切に計上していなかった。	【改善済】金品に限らず、寄附物品は適切に取り扱い計上する。
					立替金が未精算のまま残っていた。	【改善済】徴収不能となったことから、今後は立替払を行わないようにする。
	R8.2.3	倉明園	実地	中部総合事務所 県民福祉局 子ども家庭課	(文書指摘事項なし)	—
R8.2.5	ブルーインター	実地	(文書指摘事項なし)		—	
児童自立支援施設	R7.12.22	喜多原学園	実地	家庭支援課	個人情報漏洩事案において、児童支援に直接従事する職員の再発防止への当事者意識が低かった。	【改善済】継続した再発防止の研修を実施し、複数人による所属内チェック体制を徹底している。
					児童からの意見の取扱いについて、意見に対する対応終了後の職員間での共有方法や児童へのフィードバックの方法等が確立されていなかった。	【改善済】意見対応後の共有及び児童へのフィードバックについて整理し、要領及び対応処理フローを改訂する。
児童家庭支援センター	R7.6.23	子ども家庭支援センター希望館	実地	家庭支援課	(文書指摘事項なし)	—
	R7.7.16	児童家庭支援センターくわの実	実地		(文書指摘事項なし)	—
	R7.9.26	児童家庭支援センター米子みその	実地		(文書指摘事項なし)	—
里親支援センター	R7.11.26	里親家庭サポートセンターいろは	実地	家庭支援課	(文書指摘事項なし)	—

令和7年度 児童福祉行政特別指導監査 状況一覧

施設種別	実施年月日	施設名	実地書面の別	担当課	文書指摘	
					指摘事項	改善状況
児童養護施設	R7.11.27	青谷こども学園	実地	家庭支援課	施設内虐待防止改善計画を策定し、改善に取り組んでいるが、改善計画のねらいが職員に浸透していない状況がある。組織が一体となって再発防止に取り組む運営体制構築に努めること。	【改善済】改善計画を職員全体で定期的に評価し、適宜修正して継続していく。